

◆ 沖縄県立向陽高校 SSH の取り組みについて

皆さんはじめまして、SSH 研究推進部主任の城間です。

本校は今年、SSH 研究指定校 2 年目を迎えます。研究開発課題「地域の自然で探究の基礎を身に付け、主体性・協働性を基礎とした国際的科学人材の育成」を目標に**全校生徒**に対し、**探究型の学習を推進し**、国際社会で活躍できる人材の育成を目指します。また、**理数科**には SSH 科目を設置し、課題研究を柱とした学習を進めていきます。詳しい取り組み内容は、向陽高等学校 SSH 通信「QUEST FOR TRUTH」や留学生 MONTHLY REPORT を通して配信していきます。

SSH 研究推進部 メンバー紹介

城間	(SSH 企画運営全般、理数科主任)
渡邊	(総探の企画運営全般、SSH 副主任)
前竹	(国際交流の企画運営全般)
玉城	(国際交流及び総探補助、SSH 補)
砂辺	(SSH 行事記録、総探 SSH 補助)
相川	(SSH 事務 SSH 予算)

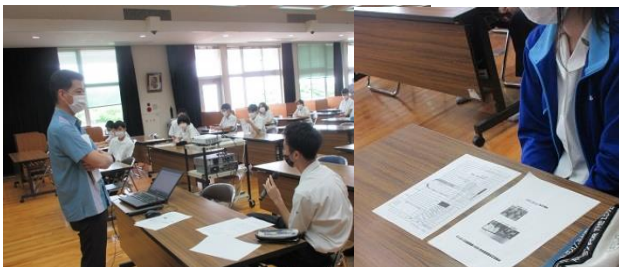
◆ SSH (スーパーサイエンスハイスクール) 指定校では



日本の将来を担う科学技術人材育成を目的に平成 14 年度より始められた事業で、高等学校における先進的な科学技術、理科・数学教育を通して、生徒の科学的能力及び技能並びに科学的思考力、判断力及び表現力を培うことを目的にしています。将来国際社会で活躍する科学技術人材等の育成を図るために、文部科学省をはじめとする各所からの指導助言、科学技術振興機構の支援協力や、大学・研究機関などとの連携を得て、先進的な理数教育による創造性豊かな人材育成を目指すものです。本校は琉球大学や O I S T (沖縄科学技術大学院大学)、沖縄県教育センターに所属する 8 名から構成される S S H 運営指導員の助言を得て研究計画を進めています。また、さまざまな**研究装置を設置し**、普通の高校では研究が難しい、**高度な研究が行えるような環境を整えて**いきます。

◆ コロナ感染を予防しながら、少しずつ活動が再開しました。

本校では、理数科で 1 年「SS リテラシー」「SS 情報」や 2 年「SS 課題探究 I」あるいは「SS 科学表現」などの科目を設定し、生徒自ら課題を見つけ解決を図る能力を育成します。その他「琉大カガク院」「東大金曜講座」など高大連携も推進しています。5 月末より分散登校が始まり、SSH 科目の授業開きを行いました。



(SS 課題探究 I 「教頭あいさつ 探究について」)



新入生ガイダンス (SSH)



SS リテラシー「科学的視点」

高大連携事業「琉大カガク院」

申し込み締め切り 5/29 各自で琉大 HP より申し込む

高大連携事業「高校生と大学生のための金曜特別講座(東大)」申し込みは職員室 SSH 研究推進部



サイエンス部「シリケンイモリの測定」